

# 枯山水

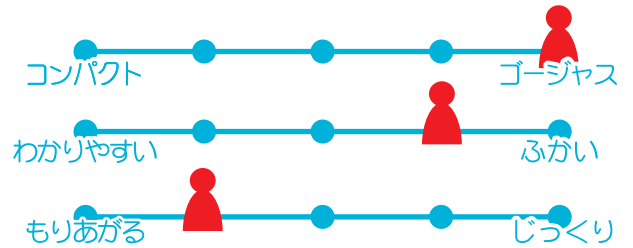
- 原題: 枯山水
- 作者: 山田空太
- 第一回東京ドイツゲーム賞大賞受賞作品

当作品は、弊社が東京・三鷹のゲームショップ「テンデイズゲームズ」と共催した公募のゲームコンテスト「東京ドイツゲーム賞」の第一回大賞受賞作品です。日本の作者、イラストレーター、メーカーによる、「和製ユーロボードゲーム」となっています。弊社初のオリジナル新作という事もあり、皆様により広く、また深くお楽しみいただけるゲームを目指しました。

プレイヤーは「枯山水」（水を配さず、砂や石、苔で山水を表現する庭園様式）の庭師となり、自分のボード上に、より優美な枯山水庭園を作ることを目指します。手番には砂紋が描かれたタイルを引き、模様が繋がるように置いていきます。この際、他のプレイヤーにタイルを譲ったり、また他の人が置こうとしているタイルを強奪したりといった駆け引きが生じます。タイルを譲るとプレイヤーの「徳ポイント」が上がり、逆に強奪すると徳が下がります。徳ポイントが貯まれば、さまざまな形をした「石」を獲得でき、これを自らの庭に設置することで石組を造れます。砂と石を用いて庭園を造っていき、全員の枯山水が完成したら、ルールに従って庭園の出来栄を点数化します。「渦」などの様々な砂地の模様、「蓬莱山」「三尊石」の石組など、砂と石を用いて特定の形を作ればより良い庭園となります。逆に砂紋の乱れは減点の対象です。最も高得点の庭園を造ったプレイヤーが勝者となります。



アートワーク: ママダユースケ



和魂洋才。

詳しいルールはこちらから

<http://www.newgamesorder.jp/games/stone-garden>

2012年に開催された東京ドイツゲーム賞の大賞作品という事で、かなり気合を入れて作りました。制作を始めた当初、コスト面や製造上のリスクを考えた結果、石の塗装や個人ボードの貼り合わせ、各種コンポーネントの箱詰め等を自分達で行うことを決め、2014年冬のゲームマーケットでは当日の朝まで作業をしていました。おかげさまで好評を博し、多くの方に喜んでいただけたので頑張った甲斐がありました。今後は量産体制を整え、安定供給を目指していく予定です。